

7 監査第 79 号
平成 27 年 8 月 19 日

京丹後市長 中山 泰 様

京丹後市監査委員 東 幹 夫

京丹後市監査委員 岡 田 修

平成 26 年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 26 年度京丹後市水道事業会計及び京丹後市病院事業会計の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

平成 26 年度

京丹後市企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	水道事業	2
(1)	事業の概況	2
(2)	予算執行状況（税込）	2
ア	収益的収入及び支出	2
イ	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績（税抜）	4
(4)	財政状態（税抜）	5
(5)	むすび	7
2	病院事業	8
(1)	事業の概況	8
ア	入院患者の状況	8
イ	外来患者の状況	8
ウ	訪問看護事業の状況	9
エ	通所リハビリテーション事業の状況	9
(2)	予算執行状況（税込）	9
ア	収益的収入及び支出	9
イ	資本的収入及び支出	10
(3)	経営成績（税抜）	12
(4)	財政状態（税抜）	14
(5)	むすび	16
	決算審査資料	18

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成26年度京丹後市水道事業会計決算
平成26年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

平成27年7月3日から平成27年8月19日

3 審査の方法

審査にあたっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績並びに財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。また、当年度より改定後の地方公営企業会計基準を適用した決算書となっているため、前年度との比較については大幅な増減が生じる場合がある。

1 水道事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

給水件数は13,428件で、前年度に比べて68件増加しているが、給水人口は344人減少して30,743人となっている。

年間総配水量は4,236,360 m³で、前年度に比べて68,761 m³の減少となっており、年間総有収水量も3,322,930 m³と20,792 m³の減少となっている。

有効率は80.35%、有収率は78.44%で、前年度に比べ共に有効率は0.82ポイント、有収率は0.77ポイント改善された。引き続き、老朽管布設替や漏水点検の実施を推進されたい。

年間総有収水量は、年々減少傾向にあり給水人口の減により本年度も減少となった。

給水人口の減少及び社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の定着などによる水需要の変動については、引き続き注視していかねばならない。

管路の状況は、次のとおりである。

(単位：km、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度
管路総延長	354.3	353.1	347.6
石綿管総延長	7.8	8.5	9.9
石綿管布設率	2.2	2.4	2.8

管路総延長354.3kmのうち、石綿管が7.8km(2.2%)で0.7kmの改善が図られているが、有収率の向上を図るうえからも、引き続き老朽管の布設替等が必要である。

(2) 予算執行状況(税込)

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表2、決算書P1、P2参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
水道事業収益	653,063	663,337	10,274	101.6
営業収益	617,052	625,438	8,386	101.4
営業外収益	36,011	37,899	1,888	105.2

収益的収入である水道事業収益は、予算額6億5,306万3千円に対して決算額6億6,333万7千円で、収入率は101.6%となっている。これは、給水収益が予算額を823万7千円上回ったことによるものである。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 2、決算書 P1, P2 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	776,520	777,278	△758	100.1
営業費用	649,534	651,023	△1,489	100.2
営業外費用	90,363	90,361	2	100.0
特別損失	36,123	35,894	229	99.4
予備費	500	0	500	0.0

収益的支出である水道事業費用は、予算額 7 億 7,652 万円に対して決算額 7 億 7,727 万 8 千円で、75 万 8 千円の予算超過、執行率は 100.1%である。減価償却費で 3,186 万 3 千円(110.3%)の予算超過、原水及び浄水費で 1,534 万 1 千円、配水及び給水費で 436 万 7 千円、業務費で 94 万 9 千円、総係費で 42 万 1 千円、資産減耗費で 929 万 6 千円の不用額のため、営業費用の予算超過が 148 万 9 千円となっている。予算超過をしているが、公営企業会計では認められる会計処理(公営企業法施行令第 18 条第 5 項但し書)である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 3、決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
資本的収入	105,160	41,067	△64,093	39.1
加 入 金	6,260	7,067	807	112.9
企 業 債	49,500	17,000	△32,500	34.3
出 資 金	49,400	17,000	△32,400	34.4

資本的収入は、予算額 1 億 516 万円に対して決算額 4,106 万 7 千円で、収入率は 39.1%となっている。これは、翌年度繰越額に係る財源充当額として 6,470 万円を要すること等によるものである。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 3、決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	373,664	203,456	119,000	51,208	54.4
建設改良費	245,791	75,583	119,000	51,208	30.8
企業債償還金	127,873	127,873	0	0	100.0

資本的支出は、予算額 3 億 7,366 万 4 千円に対して決算額 2 億 345 万 6 千円で、執行率は 54.4%である。不用額は、建設改良事業費 5,120 万 8 千円である。

主な施設整備の状況は、次のとおりである。(決算書 P 17 参照)

(単位：千円)

区 分		内 容	金 額
建設改良 (500 万円以上)	配水 施設	島津地区管渠布設工事その 19	9,951
		善王寺浄水場取水施設改良工事	25,718
		三津配水管布設替工事	5,788

これらの工事をはじめとして、安全で良質な水道水の安定供給を図るために、老朽管の更新工事や下水道整備に伴う配水管の布設替工事が実施されている。次年度以降についても、将来を見とおした的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を要望するものである。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、水道事業の担う役割を果たしていただきたい。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1 億 6,238 万 9 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 503 万 6 千円、過年度分損益勘定留保資金 1 億 5,735 万 3 千円で補填をしている。(別表 3-(3) 参照)

(3) 経営成績 (税抜)

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。(別表 4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
総 収 益 (A)	618,910	585,289	592,601	600,216	616,838
総 費 用 (B)	738,934	674,100	758,317	625,226	660,519
純 損 益	△120,024	△88,811	△165,716	△25,010	△43,681
比 率 (A)/(B)	83.8	86.8	78.1	96.0	93.4

総収益 6 億 1,891 万円に対して総費用は 7 億 3,893 万 4 千円で、差し引き 1 億 2,002 万 4 千円の純損失となったが、制度改正によるその他の未処分利益剰余金変動額 2 億 6,936 万 2 千円を加えた結果、当年度未処分利益剰余金は 4 億 5,618 万 1 千円 (別表 9) と大幅に増加となった。

総収益は、営業収益の給水収益 (水道使用料) が給水人口の減少により 267 万 7 千円減少し、他会計補助金も 27 万 6 千円減少しているが、長期前受金戻入 3,357 万 5 千円の増により、前年度に比べて 3,362 万円 1 千円 (5.7%) 増加した。

総費用は、営業費用で 3,712 万 9 千円、特別損失で 3,034 万 7 千円の増加、営業外費用で 264 万 2 千円の減少により前年度に比べて 6,483 万 4 千円 (9.6%) 増加とな

り、経常収支は4年連続で赤字となった。これは、給水収益の減少に加え原水及び浄水費の増加と、減価償却費、特別損失の増加によるものである。なお、減価償却費については前年度の工事による増加、また特別損失は制度改正に伴う増加である。

有収水量1 m³当りの供給単価及び給水原価は、次のとおりである。

(別表1参照)

(単位：円)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
供給単価 ①	172.15	171.88	171.97	171.90	171.74
給水原価 ②	201.47	199.94	188.02	181.99	157.75
利益 ①－②	△29.32	△28.06	△16.05	△10.09	13.99

供給単価は前年度に比べて27銭、給水原価は1円53銭高くなっている。その結果、有収水量1 m³当りの赤字額は前年度に比べて1円26銭増加し29円32銭となった。これは給水人口の減少とともに、猛暑の影響による節水啓発や、節水意識の向上、節水型家電製品の普及により給水収益が減っていることと、施設整備等で減価償却が膨らみ続ける傾向から、慢性的な赤字経営体質が更に悪化していることを意味する。

また、総収支比率は、別表5のとおり83.8%と5年連続の純損失となり、経常収支比率も88.0%で4年連続単年度赤字となる結果であった。

なお、今年度の決算については、会計制度の改正が大きく影響しており、水道事業収益は、営業外収益に長期前受金戻入の項目が新規で増額となったこと等で増えているが、水道事業費用も営業費用で減価償却費の増、また、特別損失の項目で引当金の計上が必要となったために大幅な増となっており、昨年と比較すると純損失が大きく増となった。

(4) 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。（別表6～9参照）

(単位：千円)

区 分		平成26年度	平成25年度	平成24年度
資 産	固定資産	6,563,401	7,139,106	7,370,936
	流動資産	1,202,610	1,165,697	1,139,945
	計	7,766,011	8,304,803	8,510,881
負 債	固定負債	3,064,104	130,717	180,016
	流動負債	225,218	70,322	87,523
	繰延収益	818,149	-	-
	計	4,107,471	201,039	267,539

資 本	資 本 金	2,676,902	5,854,538	180,016
	剰 余 金	981,638	2,249,226	87,523
	計	3,658,540	8,103,764	8,243,342
負債資本合計		7,766,011	8,304,803	8,510,881

資産の総額は77億6,601万1千円で、前年度に比べて5億3,879万2千円(△6.5%)減少している。固定資産の減少は、設備投資が少なかったことと減価償却費が増加したことによるものである。流動資産の増加は現金預金と工事前払金の増によるものである。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、次のとおりである。(別表10参照)

平成27年3月31日現在

(単位：千円、件)

区 分	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未 収 金	28,779	98,394	29,915	101,608	30,499	106,676
不 納 欠 損	1,181	6,457	786	3,090	3,063	33,662
債 権 放 棄	764	2,990	391	1,997	1,079	5,528
債 権 消 滅	417	3,467	395	1,093	1,984	28,134

未収金の総額は9,839万4千円で、前年度に比べて321万4千円(件数△1,136件)減少している。これは京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、債権放棄764件、299万円と債権消滅417件、346万7千円の不納欠損処理を行ったこと及び「給水停止」を実施した積極的な徴収努力によるものである。しかしながら、依然として多額の未収金が残っており、その回収は、利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも極めて重要である。滞納整理については、今後も簡易水道分と合わせて、法的措置を含めた債権確保の検討や「給水停止」等の措置を行うなど、積極的な対応を求めるものである。

負債の総額は別表7のとおり41億747万1千円で、前年度に比べて39億643万2千円増加している。固定負債の増加は、引当金が739万円減となったものの、企業債29億4,077万7千円の増によるものであり、流動負債の増加は、未払金が1,181万5千円の減となったものの、一時借入金910万円、企業債1億4,298万6千円、引当金562万5千円、前受金900万円の増によるものである。

資本の総額は36億5,854万円(別表9)で、前年度に比べて44億4,522万4千円(△54.9%)減少している。資本金の減少は、借入資本金(企業債)が31億9,463万6千円(別表8)と資本剰余金が14億1,692万6千円(別表9)の減によるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書 P31～P36 参照)

(単位：千円)

区 分	平成 25 年度 末残高	平成 26 年度		平成 26 年度 末残高	平成 26 年度 支払利息
		発行額	償還額		
負 債	97,883	26,100	127,873	3,190,746	67,552
資 本	3,194,636	-	-	-	
計	3,292,519	26,100	127,873	3,190,746	

企業債残高は 31 億 9,074 万 6 千円で、前年度に比べて 1 億 177 万 3 千円(△3.1%)減少している。当年度の企業債利息は 6,755 万 2 千円で、営業収益 5 億 8,095 万 1 千円に占める割合は 11.6%と、前年度に比べて 0.5 ポイント減少している。

(5) むすび

平成 26 年度の水道事業会計の経営成績は事業収益 6 億 1,891 万円に対して事業費用 7 億 3,893 万 4 千円で、差し引き 1 億 2,002 万円 4 千円で 5 年連続の当期純損失となっている。また、特別損失を除いた経常利益についても 4 年連続の赤字となっておりその額も年々増加している。

水道事業の経営について、収益面では給水人口の減少、気候変動による節水などにより今後の増収が見込めない状況のなか、費用面では上水道統合事業等の大型事業が計画されており、水道施設の管理経費や企業債償還等の支出とともに増加することが見込まれ、ますます厳しいものとなることが予想される。また、上水道統合事業により水道施設の統合で空き施設となるものについて、有効な活用や用地を含めた処分を考慮していく必要がある。

次に、水道料金について、平成 26 年度末の未収金の額は 9,839 万 4 千円と前年度より 321 万 4 千円の減少となったが、依然多額の未収金をかかえており、水道事業の経営にとって憂慮すべき事態となっている。(平成 27 年 5 月末現在は 5,422 万 6 千円)

未収金について、徴収の見込めない不良債権については京丹後市債権の管理に関する条例に基づき適正に整理するとともに、徴収しなければならない債権について利用者負担の公平性の確保と経営の健全化を図る観点からも、債権の適正な管理と積極的な徴収に努められたい。

水道事業の経営は非常に厳しい状況となっている中で、簡易水道との統合を見据え平成 27 年 4 月からは水道料金の値上げを実施しているが、未収金の対策、管理経費の節減等に尽力することも必要不可欠である。

京丹後市の水道事業が、今後とも経営基盤の確立や効率的な運営に一層努めるとともに、より安全で良質な水道水の安定供給を図り、水道利用者へのサービスの向上と、公共福祉の増進に寄与されることを期待するものである。

2 病院事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院で延 60,083 人（1 日平均 164.6 人）、久美浜病院で延 55,118 人（同 151.0 人）となり、前年度に比べて弥栄病院が 121 人（同 0.3 人）、久美浜病院が 1,862 人（同 5.1 人）の増加となった。

外来患者数は、弥栄病院で延 102,695 人（1 日平均 420.9 人）、久美浜病院で延 78,447 人（同 321.5 人）となり、入院患者数とは逆に前年度に比べて弥栄病院は 2,049 人（同 8.4 人）、久美浜病院は 2,510 人（同 10.3 人）の減少となった。

病床利用率では、弥栄病院は、前年度に比べて 0.2 ポイント上げ 82.3%に、久美浜病院は 3.0 ポイント上げて 88.8%の結果となった。

ア 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 12 及び別表 15、別表 16 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では、外科、泌尿器科で患者数が減少となったが、整形外科、人工透析、眼科、産婦人科などで増加となり、延患者数は 44,487 人と、前年度より 443 人の増となっている。また、久美浜病院でも、外科、泌尿器科、小児科などで患者数が減少となったが、整形外科、内科などで増加となり、延患者数は 34,307 人で、前年度より 1,608 人の増となっている。

療養病床においては、弥栄病院では延患者数が 15,596 人で前年度より 322 人の減となったが、久美浜病院では 20,811 人と 254 人の増となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 18 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 80.2%で、前年度より 0.8 ポイントの増となり、療養病床では 89.0%で 1.9 ポイント減となった。久美浜病院では、一般病床は 85.4%で 4.0 ポイント増となり、療養病床でも 95.0%と 1.1 ポイント増となった。

イ 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 12 及び別表 17 のとおりである。

弥栄病院では、整形外科、内科、精神科などで患者数が増加となったが、外科、皮膚科、人工透析などで減少となり、外来の延患者数は 102,695 人と、前年度より 2,049 人の減となった。

久美浜病院では、整形外科などで患者数が増加したが、小児科、歯科・歯科口腔外科などで減少となり、延患者数は 78,447 人と、前年度より 2,510 人の減となった。

なお、開院日は、両病院とも前年度と同じ 244 日であった。

ウ 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 13 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 1,497 人で前年度より 35 人の増で、訪問延人数では 6,355 人で前年度より 150 人減となった。また、久美浜病院では、訪問実人数は 711 人で前年度より 64 人の増で、訪問延人数も 4,336 人で前年度より 146 人増となった。年度ごとに人数の変動はあるものの、高齢化や核家族化の進行する中、在宅医療の充実や生活の安定のために今後とも大切な事業である。

エ 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 14 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 627 人で 53 人の増となった。また、通所延人数も 4,259 人と前年度より 122 人増となった。

(2) 予算執行状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P1, P2 及び別表 21 参照）

（単位：千円、％）

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院事業収益	4,006,803	3,940,126	△66,677	98.3
医業収益	3,483,549	3,379,554	△103,995	97.0
医業外収益	452,010	472,869	20,859	104.6
訪問看護事業収益	70,425	66,101	△4,324	97.8
特別利益	819	21,602	20,783	2637.6
久美浜病院事業収益	2,877,834	2,668,759	△209,075	92.7
医業収益	2,322,366	2,086,414	△235,952	89.8
医業外収益	466,558	460,967	△5,591	98.8
訪問看護事業収益	44,710	37,201	△7,509	83.2
通所リハビリテーション事業収益	44,200	45,322	1,122	102.5
特別利益	0	38,855	38,855	-
合 計	6,884,637	6,608,885	△275,752	96.0

収益的収入である病院事業収益は、予算額 68 億 8,463 万 7 千円に対して決算額 66 億 888 万 5 千円で、収入率は 96.0％となっている。

医業収益では外来収入及び入院収入ともに両院とも前年度と比較して伸びており、両病院を合計した増収額は前年度に比べ 1 億 3,210 万 1 千円（弥栄病院 5,039

万6千円の増、久美浜病院8,170万5千円の増)であった。

訪問介護事業収益では弥栄病院は前年度と比較して355万5千円の増となったが、久美浜病院では413万6千円の減となり、両病院合計では58万1千円の減収となった。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書P3, P4及び別表21参照)

(単位:千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
弥栄病院事業費用	4,122,290	3,941,806	180,484	95.6
医業費用	3,905,336	3,731,829	173,507	95.6
医業外費用	43,460	40,195	3,265	92.5
訪問看護事業費用	61,005	51,974	9,031	85.2
特別損失	112,447	117,808	△5,361	104.8
予備費	42	0	42	0.0
久美浜病院事業費用	2,967,003	2,779,276	187,727	93.7
医業費用	2,714,786	2,553,289	161,497	94.1
医業外費用	68,369	65,095	3,274	95.2
訪問看護事業費用	47,157	37,415	9,742	79.3
通所リハビリテーション事業費用	39,475	31,815	7,660	80.6
特別損失	91,569	91,662	△93	100.1
予備費	5,647	0	5,647	0.0
合 計	7,089,293	6,721,082	368,211	94.8

収益的支出である病院事業費用は、予算額70億8,929万3千円に対して決算額67億2,108万2千円で、執行率は94.8%となっている。不用額は総額3億6,821万1千円で、その大半は、医業費用における給与費、材料費及び経費等である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書P5、P6及び別表22参照)

(単位:千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院資本的収入	291,275	291,275	0	100.0
企業債	164,700	164,700	0	100.0
他会計負担金	116,975	116,975	0	100.0
補助金	3,000	3,000	0	100.0
寄附金	3,000	3,000	0	100.0
長期貸付金返還金	3,600	3,600	0	100.0

久美浜病院資本的収入	248,466	248,466	0	100.0
企業債	112,800	112,800	0	100.0
他会計負担金	116,978	116,978	0	100.0
補助金	15,088	15,088	0	100.0
長期貸付金返還金	3,600	3,600	0	100.0
合 計	539,741	539,741	0	100.0

資本的収入は、予算額 5 億 3,974 万 1 千円に対して決算額も同額で、収入率は 100.0%となっている。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P7, P8 及び別表 22 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
弥栄病院資本的支出	522,660	491,877	30,780	3	94.1
建設改良費	201,631	170,849	30,780	2	84.7
企業債償還金	318,929	318,928	0	1	99.9
長期貸付金	2,100	2,100	0	0	100.0
久美浜病院資本的支出	376,570	376,561	0	9	99.9
建設改良費	130,821	130,814	0	7	99.9
企業債償還金	243,649	243,647	0	2	99.9
長期貸付金	2,100	2,100	0	0	100.0
合 計	899,230	868,438	30,780	12	96.6

資本的支出は、予算額 8 億 9,923 万円に対して決算額 8 億 6,843 万 8 千円、翌年度繰越額は 3,078 万円で、執行率は 96.6%となっている。

主な施設設備の状況は、次のとおりである。

(決算書 P27～P30, P45～P48 参照)

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額	
建設改良 (5百万円以上)	弥栄病院	弥栄庁舎等解体撤去工事实施設計業務	5,292
	久美浜病院	医師住宅改築工事	67,020
		医師住宅電気設備工事	8,609
		医師住宅機械設備工事	6,103
資産購入 (10百万円以上)	弥栄病院	全自動錠剤分包機	12,420
		電子カルテシステム機能拡張	72,252

前年度と比較すると下回っているが、多くの施設設備の整備を行っている。医療

機器及び医療系システムに関しては2億142万7千円（弥栄病院1億6,034万3千円、久美浜病院4,108万4千円）の整備を行ったほか、医師住宅の改築工事が実施され医師の居住環境が整備された。弥栄病院で平成26年2月から本格運用となった電子カルテシステムの機能拡張をされたことは、診療科を超えて患者の状況把握が容易となり質の高い医療の提供に寄与するもので、多様化する患者ニーズに応え高度で安全な医療を提供するための積極的な投資である。また、弥栄病院改築整備事業に先駆け弥栄庁舎等解体撤去工事の実施設計を実施している。高額な医療機器や医師住宅の整備、病院改築整備などの事業に対しては、国や京都府の補助金を活用するなど財源確保の努力が伺える。患者サービス及び医療の質の向上に有益に活用されたい。

(3) 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

（決算書 P9, P35, P53 及び別表 23 参照）

（単位：千円、％）

区 分	平成 26 年度			平成 25 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
総収益 (A)	6,587,193	3,926,387	2,660,806	6,176,147	3,749,233	2,426,914
総費用 (B)	6,697,146	3,922,240	2,774,906	6,268,354	3,699,181	2,569,173
純損益	△109,953	4,147	△114,100	△92,207	50,052	△142,259
比率(A)/(B)	98.4	100.1	95.9	98.5	101.4	94.5

総収益 65 億 8,719 万 3 千円に対して総費用 66 億 9,714 万 6 千円で、差し引き 1 億 995 万 3 千円の純損失となっている。昨年度に続き医業収益等の減少により久美浜病院で 1 億 1,410 万円の純損失となった。一方、弥栄病院では 414 万 7 千円の純利益となったが、前年度と比較して純利益額は 4,590 万 5 千円減少しており、2 年連続の減少となっている。この結果、前年度繰越欠損金 38 億 4,916 万 9 千円を加え、その他未処分利益剰余金変動額(弥栄病院 7 億 2,215 万 5 千円 久美浜病院 8 億 4,755 万 7 千円)を減額した当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、23 億 8,941 万円となっている。

病院別の状況について見ると、弥栄病院では、医業収益は 33 億 6,604 万 6 千円で、前年度に比べて 4,377 万 4 千円（1.3%）増加したが、医業費用も 36 億 1,241 万 2 千円と、前年度に比べて 9,657 万 3 千円（2.7%）増加し、医業損失は 2 億 4,636 万 6 千円で前年度と比べ 5,279 万 9 千円の増となっている。また、医業外収益は 4 億 7,263 万 8 千円で前年度より 1 億 3,134 万 6 千円（38.5%）の増加となり、医業外費用は 1 億 4,022 万 6 千円で前年度より 3,614 万 3 千円の増加となっている。

この結果、弥栄病院の総収益は 39 億 2,638 万 7 千円、総費用は 39 億 2,224 万円で、

当年度は 414 万 7 千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は、7 億 6,973 万 5 千円となっている。

次に、久美浜病院では、医業収益は 20 億 7,901 万 9 千円で、前年度に比べて 7,879 万 1 千円 (3.9%) の増となった。一方、医業費用も 24 億 9,698 万 6 千円と、前年度に比べて 1 億 155 万 2 千円 (4.2%) 増加しており、医業損失は 4 億 1,796 万 7 千円で前年度と比べ 2,276 万 1 千円の増となっている。また、医業外収益は 4 億 6,040 万 9 千円で、前年度より 1 億 1,830 万 1 千円 (34.6%) の増加となり、医業外費用も 1 億 1,744 万 6 千円で、前年度と比較して 1,525 万 9 千円 (14.9%) 増加している。

この結果、久美浜病院の総収益は 26 億 6,080 万 6 千円、総費用は 27 億 7,490 万 6 千円で、当年度は 1 億 1,410 万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は 16 億 1,967 万 5 千円となっている。

なお、両院ともに、会計制度の改正が大きく影響しており、病院事業収入については医業収入の増加、医業外収入も長期前受金戻入の項目が新規で増となったことなどにより増えているが、病院事業費用についても、医業費用で給与費、減価償却費の増、医業外費用で雑損失の増、特別損失で引当金の計上が必要となったため大幅な増となっており、昨年と比較すると弥栄病院は純利益が減、久美浜病院は純損失が増となっている。しかし、当年度未処理欠損金は、その他未処分利益剰余金変動額の増により減となった。

医業における経営状態を示す比率は、次のとおりである。(別表 20 参照)

(単位：%)

区 分	平成 26 年度			平成 25 年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
経常収支比率	100.6	102.6	97.7	98.6	101.4	94.5
医業収益対医業費用比率	89.8	93.7	84.2	90.6	94.8	84.5

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を表わすものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて 2.0 ポイント (弥栄病院 1.2 ポイントの増、久美浜病院 3.2 ポイントの増) と少し上がった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を表わすものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて 0.8 ポイント (弥栄病院 1.1 ポイントの減、久美浜病院 0.3 ポイントの減) 下がった。両病院の経営状態が共に少し悪くなっている結果となった。

(4) 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。（別表 24～27 参照）

（単位：千円）

区 分		平成 26 年度			平成 25 年度		
			弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
資 産	固定資産	4,826,498	2,571,404	2,255,094	5,451,424	2,891,247	2,560,177
	流動資産	1,261,203	783,323	477,880	1,376,785	833,089	543,696
	繰延勘定	-	-	-	77,321	27,028	50,293
	計	6,087,701	3,354,727	2,732,974	6,905,530	3,751,364	3,154,166
負 債	固定負債	3,235,754	1,256,620	1,979,134	379,593	213,536	166,057
	流動負債	1,464,961	803,189	661,772	733,721	430,564	303,157
	繰延収益	995,007	549,588	445,419	-	-	-
	計	5,695,722	2,609,397	3,086,325	1,113,314	644,100	469,214
資 本	資本金	496,753	427,953	68,800	4,188,867	1,939,072	2,249,795
	剰余金	△104,774	317,377	△422,151	1,603,349	1,168,192	435,157
	計	391,979	745,330	△353,351	5,792,216	3,107,264	2,684,952
負債資本合計		6,087,701	3,354,727	2,732,974	6,905,530	3,751,364	3,154,166

資産の総額は60億8,770万1千円で、前年度に比べて8億1,782万9千円(11.8%)減少している。固定資産は、制度改正により繰延勘定分を固定資産にあわせて計上しているが、それ以上に減価償却分の増加が大きく影響し、減少となった。流動資産の減少は、貯蔵品が166万1千円増となったが、現金預金が1,092万4千円、未収金が1億631万9千円減になったことによるものである。

流動資産である個人が窓口で支払うべき診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

平成 27 年 3 月 31 日現在

（単位：千円）

区 分		平成 26 年度			平成 25 年度		
			弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
未 収 金		63,148	44,100	19,048	78,019	52,516	25,503
不納欠損		638	609	29	0	0	0
	債権放棄	607	578	29	0	0	0
	債権消滅	31	31	0	0	0	0

未収金の総額は6,314万8千円で、前年度に比べて1,487万1千円(弥栄病院は841万6千円の減、久美浜病院は645万5千円の減)減少している。平成27年5月31日現在の未収金の総額は5,091万2千円で、前年度に比べて1,172万9千円(弥栄病院

は594万6千円の減、久美浜病院は578万3千円の減)減少しており、弁護士事務所への未収金回収委託やクレジットカード払の導入などの成果が現れている。経営の健全化を推し進める観点からも、診療費の滞納整理については引き続き積極的な対応を求めるものである。

負債の総額は56億9,572万2千円で、前年度に比べて45億8,240万8千円(411.6%)増加している。固定負債の増加は、企業債28億5,616万1千円の増加によるものであり、流動負債の増加は、企業債5億6,637万8千円、引当金1億7,255万6千円、リース債務53万7千円の増加等によるものである。固定負債の企業債と流動負債の企業債は借入資本金からの変更計上、流動負債のリース債務と引当金は新規計上であり主に制度改正による増加である。

資本の総額は3億9,197万9千円で、前年度に比べて54億23万7千円(93.2%)減少している。資本金の減少は、その他資本剰余金1,560万円が増となっているほか減少しており、主に制度改正により固定負債・流動負債への計上替えとなっているためである。

企業債の状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	平成 25 年度 末残高	平成 26 年度		平成 26 年度 末残高	平成 26 年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	1,724,655	164,700	318,928	1,570,427	21,547
負債	213,536	164,700	318,928	1,570,427	
資本	1,511,119	-	-	-	
久美浜病院	2,347,052	128,300	243,647	2,231,705	53,473
負債	166,057	128,300	243,647	2,231,705	
資本	2,180,995	-	-	-	
合 計	4,071,707	293,000	562,575	3,802,132	75,020
負債	379,593	293,000	562,575	3,802,132	
資本	3,692,114	-	-	-	

企業債残高は、38億213万2千円で、前年度に比べて2億6,957万5千円(△6.6%)減少している。医療機器等購入、施設整備及び弥栄病院改築整備工事のために両病院で2億9,300万円を借り入れているが、償還額がそれを上回ったことによるものである。

病院別の状況について見ると、弥栄病院では、企業債残高は15億7,042万7千円で、前年度に比べて1億5,422万8千円(△8.9%)減少している。当年度の企業債利息は2,154万7千円で、医業収益33億6,604万6千円に占める割合は0.6%(前年度0.7%)と減少している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は 22 億 3,170 万 5 千円で、前年度に比べて 1 億 1,534 万 7 千円（△4.9%）減少している。当年度の企業債利息は 5,347 万 3 千円で、医業収益 20 億 7,901 万 9 千円に占める割合は 2.6%（前年度 2.9%）と減少している。

なお、制度改正により負債と資本に区分されていた資本についてはすべて負債に計上しているため、資本区分については減となった。

(5) むすび

平成 26 年度は、公立病院特例債の償還が終了する平成 27 年度までの 2 年間について、公立病院改革プランを作成し取り組んだ初年度で、新たな会計制度のもとに更なる医療提供体制の充実と持続可能な経営の確保に努める年として、経営改善に取り組み、市民にとって身近で信頼できる医療機関として、複雑多様化する医療ニーズに応え質の高い医療を提供し、地域医療に貢献できる市民病院を目指し病院運営を行った一年であった。

両病院の医療体制について、久美浜病院で外科医師が 2 人から 1 人体制となり麻酔科医師が不在となったことや、弥栄病院でも常勤外科医師が不在となり救急患者の受け入れ態勢が不十分な状況であったが、京都府立医科大学附属北部医療センターの協力により久美浜病院への外科医の週 5 日派遣、麻酔科医師の週 2 日派遣など医師派遣支援を受けることができたことや、弥栄病院で循環器内科の専門医を副院長に迎え内科医療の充実・安定化を図ることができたことは評価できる。また、京都市内の 3 病院から研修医として延べ 25 人、また、新たに神戸市立医療センター中央市民病院から 11 人を受け入れ、将来の地域医療を担う人材の育成に取り組まれた。その結果、医療体制の補完と常勤医師の負担軽減が図られたことは、両病院の日々精進の賜と評価する。

経常収支については、前年度は赤字決算であったが、平成 26 年度は黒字決算となった。病院別に見ると弥栄病院では、外来収入の増加により前年度に続き黒字決算となり、久美浜病院では入院収入、外来収入共に増加しているが、給与費、光熱水費、修繕費、減価償却費等の増加により赤字となった。収益の増加には入院収益を増やすことが必要であり、その為には常勤医師の拡充が必要不可欠で、更なる医師の招へいの取り組みが必要である。

また、平成 20 年度に多額の不良債務等を長期債務に振り替えた公立病院特例債の未償還残高は 1 億 5,624 万 1 千円（弥栄病院 1 億 714 万 1 千円、久美浜病院 4,910 万円）で平成 27 年度まで償還が続くことや、医療設備の更新や医療技術の進歩に伴う新たな設備投資などが必要になることから、一般会計からの支援を継続する必要がある。

次に、診療費の未収金については両院で 6,314 万 8 千円の未収金があるが、昨年度まで毎年増加傾向にあった未収金が昨年と比較して 1,487 万 1 千円減少している。こ

れは未収金の回収を弁護士法人へ委託したことが大きな要因となっている。また、職員による定期的に未納者宅へ訪問し直接徴収を行う取り組みや窓口での啓発などの個別対応による成果だと評価する。また、クレジットカードによる支払を導入したことは現年分の未収金防止となっている。今後についても、現年分の新たな未収金が発生しないよう窓口での啓発や個別対応に努めるとともに、職員により定期的に未納者宅へ訪問し直接徴収を行うなど未収金を減らすよう努め、負担の公平性の観点からも関係部局と連携した計画的な取り組みを強化し、未収金発生防止と解消に向け、引き続き努力されたい。

病院経営について、厳しい経営状況を踏まえ危機感をもって改善への取り組みが必要であり、平成 27 年度までの 2 年間の公立病院改革プランに基づき実施している病院の経営改善に向けてさらに努力されたい。経営改善への具体的なプランと将来の市立病院として地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等公的病院としての役割が果せるような持続可能な経営が必要である。また、病院施設の整備についても長期的な展望に立ち経営計画とリンクした計画とするとともに、合併前からの課題である病院用地の借地問題について、その借地については病院施設の地上権が設定されているものの、市有地にすべきであり解決するよう努められたい。

今後とも、病院事業の全部門、全職員が経営感覚を常に念頭に置き、院内あげて患者サービスの向上と経費節減に努め、市民の命と健康を守るため、地域に密着した確かな医療サービスの提供に総力を挙げて取り組み、公共福祉の増進に寄与されることを望むものである。

水道事業会計 決算審査資料

別表 1	水道事業の概要	19
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	20
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	21
別表 4	損益計算書（税抜）	22
別表 5	経営の安定度に関する指標	23
別表 6	資産	24
別表 7	負債	24
別表 8	資本金	25
別表 9	剰余金	25
別表 10	未収金及び不納欠損額（税込）	26

病院事業会計 決算審査資料

別表 1 1	病院事業の概要（税抜）	27
別表 1 2	入院患者・外来患者の状況	28
別表 1 3	訪問看護の状況	28
別表 1 4	通所リハビリテーションの状況	28
別表 1 5	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	29
別表 1 6	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	30
別表 1 7	診療科目別外来患者の状況	31
別表 1 8	病床利用率	32
別表 1 9	患者 1 人 1 日当たり診療収入	32
別表 2 0	収支比率	32
別表 2 1	収益的収支（税込）	33
別表 2 2	資本的収支（税込）	34
別表 2 3	損益計算書（税抜）	35
別表 2 4	資産	37
別表 2 5	負債	37
別表 2 6	資本金	38
別表 2 7	剰余金	38

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入しているため、
合計と内訳の計が一致しない場合がある。
改定後の地方公営企業会計基準を適用した決算書となっているため、
前年度との比較については大幅な増減が生じる場合がある。

別表1 水道事業の概要

項目	年度	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年比	
				増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給水件数(件)		13,428	13,360	68	0.5%
給水人口(人)		30,743	31,087	△344	△1.1%
配水量					
年間総配水量(m ³)		4,236,360	4,305,121	△68,761	△1.6%
一日最大配水量(m ³)		13,367	14,080	△713	△5.1%
一日最小配水量(m ³)		10,207	10,326	△119	△1.2%
一日平均配水量(m ³)		11,606	11,795	△189	△1.6%
有収水量					
年間総有収水量(m ³)		3,322,930	3,343,722	△20,792	△0.6%
有効率(%)		80.35	79.53	0.82	1.0%
有収率(%)		78.44	77.67	0.77	1.0%
供給単価		172円15銭	171円88銭	27銭	0.2%
給水原価		201円47銭	199円94銭	1円53銭	0.8%
資本費		113円34銭	113円97銭	△63銭	△0.6%

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量(漏水量を除いた水量)の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量+無収水量(メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等)
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・供給単価 給水収益/年間総有収水量
有収水量1m³当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標。
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標。
- ・資本費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
水道事業収益	653,063	663,337	10,274	101.6
営業収益	617,052	625,438	8,386	101.4
給水収益	608,184	616,421	8,237	101.4
その他営業収益	8,868	9,017	149	101.7
営業外収益	36,011	37,899	1,888	105.2
受取利息及び配当金	200	279	79	139.5
他会計補助金	432	432	0	100.0
長期前受金戻入	33,064	33,575	511	101.5
雑収益	2,315	3,613	1,298	156.1

(2) 支出

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
水道事業費用	776,520	777,278	△ 758	100.1
営業費用	649,534	651,023	△ 1,489	100.2
原水及び浄水費	209,408	194,067	15,341	92.7
配水及び給水費	50,721	46,354	4,367	91.4
業務費	30,411	29,462	949	96.9
総係費	38,216	37,795	421	98.9
減価償却費	310,778	342,641	△ 31,863	110.3
資産減耗費	10,000	704	9,296	7.0
営業外費用	90,363	90,361	2	100.0
支払利息及び企業債取扱諸費	67,553	67,552	1	100.0
雑支出	45	45	0	100.0
消費税及び地方消費税	22,765	22,764	1	100.0
特別損失	36,123	35,894	229	99.4
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	36,123	35,894	229	99.4
予備費	500	0	500	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	105,160	Ⓐ 41,067	△ 64,093	39.1
加入金	6,260	7,067	807	112.9
加入金	6,260	7,067	807	112.9
企業債	49,500	17,000	△ 32,500	34.3
企業債	49,500	17,000	△ 32,500	34.3
出資金	49,400	17,000	△ 32,400	34.4
一般会計出資金	49,400	17,000	△ 32,400	34.4
補償金	0	0	0	—
補償金	0	0	0	—

(2) 支出

(単位：千円、%)

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	373,664	Ⓑ 203,456	119,000	51,208	54.4
建設改良費	245,791	75,583	119,000	51,208	30.8
固定資産取得費	0	0	0	0	—
建設改良事業費	245,791	75,583	119,000	51,208	30.8
企業債償還金	127,873	127,873	0	0	100.0
企業債償還金	127,873	127,873	0	0	100.0

(3) 資本の収入が資本の支出額に対して不足する額

(単位：千円)

項目	金額	備考
資本の収支差引額	Ⓐ-Ⓑ △ 162,389	
補填財源	162,389	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	5,036	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定保留資金	157,353	
当年度分損益勘定保留資金	0	
利益剰余金	0	

別表4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年度 項目	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年比	
			金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
水道事業収益 (A)	618,910	585,289	33,621	5.7
営業収益 (C)	580,951	583,568	△ 2,617	△ 0.4
給水収益	572,054	574,731	△ 2,677	△ 0.5
その他の営業収益	8,897	8,837	60	0.7
営業外収益	37,959	1,721	36,238	2,105.6
受取利息及び配当金	279	267	12	4.5
他会計補助金	432	708	△ 276	△ 39.0
長期前受金戻入	33,575	-	33,575	皆増
雑収益	3,673	746	2,927	392.4
水道事業費用 (B)	738,934	674,100	64,834	9.6
営業費用	635,344	598,215	37,129	6.2
原水及び浄水費	182,650	179,368	3,282	1.8
配水及び給水費	44,490	46,828	△ 2,338	△ 5.0
業務費	27,610	25,969	1,641	6.3
総係費	37,250	31,939	5,311	16.6
減価償却費	342,641	310,778	31,863	10.3
資産減耗費	703	3,333	△ 2,630	△ 78.9
その他営業費用	0	0	0	-
営業外費用	67,696	70,338	△ 2,642	△ 3.8
支払利息 (D)	67,552	70,323	△ 2,771	△ 3.9
雑支出	144	15	129	860.0
特別損失	35,894	5,547	30,347	547.1
過年度損益修正損	0	2,945	△ 2,945	△ 100.0
資産減耗費	0	0	0	-
その他特別損失	35,894	2,602	33,292	1,279.5
当年度純損益 (A)-(B)	△ 120,024	△ 88,811	△ 31,213	35.1
総収支比率 (A)/(B)	83.8	86.8	△ 3	/
支払利息/営業収益 (D)/(C)	11.6	12.1	△ 1	/

別表 5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：%)

項目	年度			備 考
	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
総収支比率	83.8	86.8	78.1	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
類似団体全国 平均値	—	108.7	106.9	
経常収支比率	88.0	87.5	93.1	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
類似団体全国 平均値	—	108.5	108.1	
営業収支比率	91.4	97.6	105.3	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
類似団体全国 平均値	—	118.4	118.3	

別表 6 水道事業資産

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	363,602	363,111	491	0.1
	建物	244,727	253,811	△ 9,084	△ 3.6
	構築物	3,932,954	4,197,376	△ 264,422	△ 6.3
	機械及び装置	1,971,834	2,262,085	△ 290,251	△ 12.8
	車両運搬具	6,854	10,674	△ 3,820	△ 35.8
	工具器具及び備品	28,603	41,339	△ 12,736	△ 30.8
	建設仮勘定	14,827	10,710	4,117	38.4
	小計	6,563,401	7,139,106	△ 575,705	△ 8.1
流動資産	現金預金	1,094,627	1,044,493	50,134	4.8
	未収金	73,701	105,605	△ 31,904	△ 30.2
	貯蔵品	7,446	7,403	43	0.6
	前払金	26,836	8,196	18,640	227.4
	その他流動資産	0	0	0	—
	小計	1,202,610	1,165,697	36,913	3.2
合計		7,766,011	8,304,803	△ 538,792	△ 6.5

別表 7 水道事業負債

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	3,038,660	97,883	2,940,777	3,004.4
	引当金	25,444	32,834	△ 7,390	△ 22.5
	その他固定負債	0	0	0	—
	小計	3,064,104	130,717	2,933,387	2,244.1
流動負債	一時借入金	9,100	—	9,100	皆増
	企業債	142,986	—	142,986	皆増
	未払金	57,507	69,322	△ 11,815	△ 17.0
	引当金	5,625	—	5,625	皆増
	前受金	9,000	0	9,000	皆増
	その他流動負債	1,000	1,000	0	0.0
	小計	225,218	70,322	154,896	220.3
繰延収益	長期前受金	1,450,748	—	1,450,748	皆増
	収益化累計額	△ 632,599	—	△ 632,599	皆増
	小計	818,149	—	818,149	皆増
合計 (ア)		4,107,471	201,039	3,906,432	1,943.1

別表 8 水道事業資本金

(単位：千円、%)

年度 項目		平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金	2,676,902	2,659,902	17,000	0.6
借入資本金	企業債	—	3,194,636	△ 3,194,636	皆減
合計 (イ)		2,676,902	5,854,538	△ 3,177,636	△ 54.3

別表 9 水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年度 項目		平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年比	
				金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金	1,972	1,972	0	0.0
	受贈財産評価額	267,845	385,017	△ 117,172	△ 30.4
	寄付金	3,243	3,243	0	0.0
	加入金	17,883	347,494	△ 329,611	△ 94.9
	補助金	67,948	560,142	△ 492,194	△ 87.9
	工事負担金	35,638	124,431	△ 88,793	△ 71.4
	補償金	—	389,156	△ 389,156	皆減
	小計	394,529	1,811,455	△ 1,416,926	△ 78.2
利益剰余金	減債積立金	3,600	3,600	0	0.0
	建設改良積立金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	456,181	306,843	149,338	48.7
	(うち当年度純利益)	(△ 120,024)	(△ 88,811)	(△ 31,213)	(△ 35.1)
	小計	587,109	437,771	149,338	34.1
合計 (ウ)		981,638	2,249,226	△ 1,267,588	△ 56.4

資本合計 (イ)+(ウ)	3,658,540	8,103,764	△ 4,445,224	△ 54.9
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	7,766,011	8,304,803	△ 538,792	△ 6.5

別表 10 水道事業会計 未収金及び不納欠損額（税込）

平成27年3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	平成26年度		平成25年度		平成26年度		平成25年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成26年度	14,723	49,893,564			0	0		
平成25年度	1,012	3,099,306	14,692	47,106,160	40	105,740	1	980
平成24年度	1,551	4,878,731	1,897	5,986,740	62	328,620	16	61,110
平成23年度	1,417	4,456,411	1,637	5,091,712	54	151,830	40	86,760
平成22年度	1,703	5,805,352	1,980	6,788,490	82	408,670	48	230,010
平成21年度	1,564	5,492,290	1,804	6,082,590	116	333,120	47	270,520
平成20年度	1,143	3,773,878	1,311	4,309,240	68	300,150	62	315,520
平成19年度	856	2,844,394	987	3,465,270	91	516,410	34	160,070
平成18年度	743	2,284,508	879	2,766,360	96	390,830	24	41,510
平成17年度	494	1,637,074	568	2,031,690	54	346,120	19	18,750
平成16年度	390	1,392,080	443	1,700,110	32	252,660	21	27,030
平成15年度	591	2,611,226	636	2,732,746	25	80,270	78	225,800
平成14年度	468	2,281,818	529	2,447,325	48	137,150	100	273,030
平成13年度	419	1,411,920	474	1,609,625	54	196,395	69	197,750
平成12年度	307	1,107,486	334	1,226,805	27	117,215	56	319,680
平成11年度	338	1,205,755	381	1,376,165	35	135,465	60	316,465
平成10年度	265	1,018,355	346	1,409,670	75	379,580	60	343,340
平成9年度	234	918,755	277	1,170,065	43	251,310	23	82,590
平成8年度	204	1,030,820	231	1,332,805	27	301,985	9	65,310
平成7年度	151	664,595	200	1,303,150	49	638,555	8	36,730
平成6年度	117	346,660	169	791,585	52	444,925	11	16,880
平成5年度	89	239,270	140	879,365	51	640,095	0	0
合 計	28,779	98,394,248	29,915	101,607,668	1,181	6,457,095	786	3,089,835

平成27年5月31日現在

（単位：円、件）

	平成26年度		平成25年度		差引増減		備 考
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
現年度 滞納水道料金	1,582	6,268,219	1,640	5,072,930	△ 58	1,195,289	
過年度 滞納水道料金	13,849	47,957,512	15,081	54,082,251	△ 1,232	△ 6,124,739	
合 計	15,431	54,225,731	16,721	59,155,181	△ 1,290	△ 4,929,450	

別表 1 1

病院事業の概要（税抜）

項 目		単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院				
			平成26年度	平成25年度	対前年比 (H26-H25)	平成26年度	平成25年度	対前年比 (H26-H25)		
医 業	病床数	床	200	200	0	170	170	0		
		年間延	床	73,000	73,000	0	62,050	62,050	0	
	患者 数	入 院	年間延	人	60,083	59,962	121	55,118	53,256	1,862
			1日平均	人	164.6	164.3	0.3	151.0	145.9	5.1
		外 来	年間延	人	102,695	104,744	△ 2,049	78,447	80,957	△ 2,510
			1日平均	人	420.9	429.3	△ 8.4	321.5	331.8	△ 10.3
	病床利用率		%	82.3	82.1	0.2	88.8	85.8	3.0	
	外来開院日		日	244	244	0	244	244	0	
	医業費用		千円	3,612,412	3,515,839	96,573	2,496,986	2,395,434	101,552	
	医業収益		千円	3,366,046	3,322,272	43,774	2,079,019	2,000,227	78,792	
入院 外来 収益	入 院	総 額	千円	1,722,445	1,720,010	2,435	1,377,998	1,313,239	64,759	
		1人1日 平 均	円	28,668	28,685	△ 17	25,001	24,659	342	
	外 来	総 額	千円	1,499,467	1,451,807	47,660	616,217	605,195	11,022	
		1人1日 平 均	円	14,601	13,861	740	7,855	7,476	379	
訪問看護 事業	訪問実人数	人	1,497	1,462	35	711	647	64		
	訪問延人数	人	6,355	6,505	△ 150	4,336	4,190	146		
	1日平均 訪問患者数	人	26.0	26.7	△ 0.7	17.8	17.2	0.6		
通所リハ ビリテー ション事 業	通所実人数	人				627	574	53		
	通所延人数	人				4,259	4,137	122		
	1日平均 通所患者数	人				17.5	17.0	0.5		
職員数 (年度末 現在)	医 師	人	10	11	△ 1	15	16	△ 1		
	看護師 (含、助産師)	人	120	121	△ 1	96	95	1		
	その他	人	53	50	3	32	32	0		
	計	人	183	182	1	143	143	0		

別表12 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成26年度		平成25年度		対前年比 (H26/H25)	
			延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床(262床) 合計		78,794	215.9	76,743	210.3	2,051	2.7
		弥栄病院(152床)	44,487	121.9	44,044	120.7	443	1.0
		久美浜病院(110床)	34,307	94.0	32,699	89.6	1,608	4.9
	療養病床(108床) 合計		36,407	99.7	36,475	99.9	△68	△0.2
		弥栄病院(48床)	15,596	42.7	15,918	43.6	△322	△2.0
		久美浜病院(60床)	20,811	57.0	20,557	56.3	254	1.2
外 来	合計		181,142	742.4	185,701	757.9	△4,559	△2.5
		弥栄病院(開院日:244日)	102,695	420.9	104,744	427.5	△2,049	△2.0
		久美浜病院(開院日:244日)	78,447	321.5	80,957	330.4	△2,510	△3.1

※ 平成25年度の外来開院日は、弥栄病院244日、久美浜病院244日です。

別表13 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分		年 度	平成26年度			平成25年度			対前年比	
			訪問 実人数 (A)	訪問 延人数 (B)	1日平均 訪問 患者数	訪問 実人数 (C)	訪問 延人数 (D)	1日平均 訪問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			2,208	10,691	43.8	2,109	10,695	43.9	99	△4
弥栄病院			1,497	6,355	26.0	1,462	6,505	26.7	35	△150
久美浜病院			711	4,336	17.8	647	4,190	17.2	64	146

別表14 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成26年度			平成25年度			対前年比	
			通所 実人数 (A)	通所 延人数 (B)	1日平均 通所 患者数	通所 実人数 (C)	通所 延人数 (D)	1日平均 通所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合計			627	4,259	17.5	574	4,137	17.0	53	122
弥栄病院										
久美浜病院			627	4,259	17.5	574	4,137	17.0	53	122

別表 15 診療科目別入院患者の状況（一般病床）

診療科	年度	平成26年度			平成25年度			対前年比 (H26-H25)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄病院									
152 床	内科	21,268	58.3	47.8	21,082	57.7	47.9	186	0.6
	外科	0	0.0	0.0	1,234	3.4	2.8	△ 1,234	△ 3.4
	整形外科	13,773	37.7	31.0	12,518	34.3	28.4	1,255	3.4
	産婦人科	6,095	16.7	13.7	5,977	16.4	13.6	118	0.3
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	1,337	3.7	3.0	1,126	3.1	2.6	211	0.6
	泌尿器科	0	0.0	0.0	354	1.0	0.8	△ 354	△ 1.0
	人工透析	2,014	5.5	4.5	1,753	4.8	3.9	261	0.7
	リハビリ	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	44,487	121.9	100.0	44,044	120.7	100.0	443	1.2	
久美浜病院									
110 床	内科	22,005	60.3	64.1	20,910	57.3	63.9	1,095	3.0
	外科	1,379	3.8	4.0	2,584	7.1	7.9	△ 1,205	△ 3.3
	整形外科	3,760	10.3	11.0	2,483	6.8	7.6	1,277	3.5
	小児科	2,549	7.0	7.4	2,705	7.4	8.3	△ 156	△ 0.4
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	173	0.5	0.5	216	0.6	0.7	△ 43	△ 0.1
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	818	2.2	2.4	1,025	2.8	3.1	△ 207	△ 0.6
	歯科・歯科 口腔外科	3,623	9.9	10.6	2,776	7.6	8.5	847	2.3
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小計	34,307	94.0	100.0	32,699	89.6	100.0	1,608	4.4	
合計	78,794	215.9		76,743	210.3		2,051	5.6	

別表 16 診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年度	平成26年度			平成25年度			対前年比 (H26-H25)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄病院									
48床	内科	15,596	42.7	100.0	15,918	43.6	100.0	△ 322	△ 0.9
	外科								
	整形外科								
	産婦人科								
	小児科								
	耳鼻咽喉科								
	眼科								
	泌尿器科								
	人工透析								
	リハビリ								
	皮膚科								
	総合診療科								
	精神科								
小計	15,596	42.7	100.0	15,918	43.6	100.0	△ 322	△ 0.9	
久美浜病院									
60床	内科	17,810	48.8	85.6	17,417	47.7	84.7	393	1.1
	外科								
	整形外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小児科								
	皮膚科								
	眼科								
	耳鼻咽喉科								
	泌尿器科	3,001	8.2	14.4	3,140	8.6	15.3	△ 139	△ 0.4
	歯科・歯科 口腔外科								
	心療内科・ 精神科								
小計	20,811	57.0	100.0	20,557	56.3	100.0	254	0.7	
合計	36,407	99.7		36,475	99.9		△ 68	△ 0.2	

別表 17

診療科目別外来患者の状況

診療科		平成26年度			平成25年度			対前年比 (H26-H25)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内科	25,372	104.0	24.7	23,903	98.0	22.8	1,469	6.0
	外科	1,361	5.6	1.3	2,846	11.7	2.7	△ 1,485	△ 6.1
	整形外科	25,262	103.5	24.6	22,904	93.9	21.9	2,358	9.6
	産婦人科	12,575	51.6	12.2	13,336	54.6	12.7	△ 761	△ 3.0
	小児科	1,635	6.7	1.6	2,311	9.5	2.2	△ 676	△ 2.8
	耳鼻咽喉科	2,079	8.5	2.0	1,812	7.4	1.7	267	1.1
	眼科	15,926	65.3	15.5	16,357	67.0	15.6	△ 431	△ 1.7
	泌尿器科	1,472	6.0	1.4	1,426	5.8	1.4	46	0.2
	人工透析	9,149	37.5	9.0	10,205	41.8	9.8	△ 1,056	△ 4.3
	リハビリ	1,001	4.1	1.0	1,580	6.5	1.5	△ 579	△ 2.4
	皮膚科	2,001	8.2	1.9	3,556	14.6	3.4	△ 1,555	△ 6.4
	総合診療科	3,780	15.5	3.7	4,016	16.5	3.8	△ 236	△ 1.0
	精神科	1,082	4.4	1.1	492	2.0	0.5	590	2.4
小計	102,695	420.9	100.0	104,744	429.3	100.0	△ 2,049	△ 8.4	
久 美 浜 病 院	内科	31,106	127.5	39.7	31,073	127.3	38.4	33	0.2
	外科	3,741	15.3	4.8	4,076	16.7	5.0	△ 335	△ 1.4
	整形外科	8,826	36.2	11.3	7,660	31.4	9.5	1,166	4.8
	小児科	10,607	43.5	13.5	12,045	49.4	14.9	△ 1,438	△ 5.9
	皮膚科	1,519	6.2	1.9	1,606	6.5	2.0	△ 87	△ 0.3
	眼科	2,912	11.9	3.7	2,979	12.2	3.7	△ 67	△ 0.3
	耳鼻咽喉科	1,519	6.2	1.9	1,528	6.3	1.9	△ 9	△ 0.1
	泌尿器科	2,887	11.8	3.7	2,867	11.8	3.5	20	0.0
	歯科・歯科 口腔外科	15,074	61.8	19.2	16,831	69.0	20.8	△ 1,757	△ 7.2
	心療内科・ 精神科	256	1.1	0.3	292	1.2	0.3	△ 36	△ 0.1
小計	78,447	321.5	100.0	80,957	331.8	100.0	△ 2,510	△ 10.3	
合計	181,142	742.4		185,701	761.1		△ 4,559	△ 18.7	

別表 18 病床利用率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年比 (H26-H25)
		病院					
一般病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		82.4	80.2	80.2	2.2
		弥栄病院		80.2	79.4	79.6	0.8
		久美浜病院		85.4	81.4	81.1	4.0
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		92.4	92.5	94.1	△ 0.1
		弥栄病院		89.0	90.9	94.0	△ 1.9
		久美浜病院		95.0	93.9	94.1	1.1

別表 19 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区分	算出方法	年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年比 (H26-H25)
		病院					
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		32,387	32,375	32,483	12
		弥栄病院		33,074	32,799	32,561	275
		久美浜病院		31,495	31,804	32,377	△ 309
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		15,068	15,043	16,042	25
		弥栄病院		16,098	17,302	18,350	△ 1,204
		久美浜病院		14,296	13,294	14,196	1,002
外来診療収入	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	合計		11,680	11,077	11,127	603
		弥栄病院		14,601	13,861	13,973	740
		久美浜病院		7,855	7,476	7,644	379
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合計		9,663	9,713	10,739	△ 50
		弥栄病院		10,401	9,615	9,839	786
		久美浜病院		8,580	9,866	12,519	△ 1,286
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合計		10,641	10,444	10,757	197
		弥栄病院					
		久美浜病院		10,641	10,444	10,757	197

別表 20 病院事業収支比率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年比 (H26-H25)
		病院					
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		100.6	98.6	103.6	2.0
		弥栄病院		102.6	101.4	105.5	1.2
		久美浜病院		97.7	94.5	100.9	3.2
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		89.8	90.6	95.2	△ 0.8
		弥栄病院		93.7	94.8	98.4	△ 1.1
		久美浜病院		84.2	84.5	90.6	△ 0.3

別表 21

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		平成26年度			平成25年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医業収益	5,465,968	3,379,554	2,086,414	5,333,867	3,329,158	2,004,709
	医業外収益	933,836	472,869	460,967	684,425	341,953	342,472
	訪問介護事業収益	103,302	66,101	37,201	103,883	62,546	41,337
	通所リハビリテーション事業収益	45,322	0	45,322	43,206	0	43,206
	特別利益	60,457	21,602	38,855	23,159	23,124	35
	合 計	6,608,885	3,940,126	2,668,759	6,188,540	3,756,781	2,431,759
収益的支出	医業費用	6,285,118	3,731,829	2,553,289	6,020,597	3,587,094	2,433,503
	医業外費用	105,290	40,195	65,095	99,920	35,008	64,912
	訪問看護事業費用	89,389	51,974	37,415	93,603	54,096	39,507
	通所リハビリテーション事業費用	31,815	0	31,815	32,355	0	32,355
	特別損失	209,470	117,808	91,662	25,272	25,272	0
	合 計	6,721,082	3,941,806	2,779,276	6,271,747	3,701,470	2,570,277

別表 22

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		平成26年度			平成25年度			
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
資 本 的 収 入	企 業 債	277,500	164,700	112,800	327,300	153,800	173,500	
	他 会 計 負 担 金	233,953	116,975	116,978	208,931	105,453	103,478	
	補 助 金	18,088	3,000	15,088	88,432	52,625	35,807	
	投 資 償 還 収 入	0	0	0	0	0	0	
	寄 附 金	3,000	3,000	0	200	200	0	
	長 期 貸 付 金 返 還 金	7,200	3,600	3,600	0	0	0	
	小 計	539,741	291,275	248,466	624,863	312,078	312,785	
	補 填 財 源	消費税及び地方 消費税資本の 収支調整額	0	0	0	0	0	0
		繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
		過年度分損益 勘定留保資金	328,697	200,602	128,095	313,487	201,264	112,223
		当年度分損益 勘定留保資金	0	0	0	0	0	0
		利益剰余金	0	0	0	0	0	0
		小 計	328,697	200,602	128,095	313,487	201,264	112,223
	合 計	868,438	491,877	376,561	938,350	513,342	425,008	
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	301,663	170,849	130,814	438,939	224,735	214,204	
	企 業 債 償 還 金	562,575	318,928	243,647	495,811	286,807	209,004	
	長 期 貸 付 金	4,200	2,100	2,100	3,600	1,800	1,800	
	合 計	868,438	491,877	376,561	938,350	513,342	425,008	

別表 23

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分	年 度	平成26年度			平成25年度			対前年比(H26-H25)			対前年度比 計 (%) H26/H25 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益	(A)	6,587,193	3,926,387	2,660,806	6,176,147	3,749,233	2,426,914	411,046	177,154	233,892	6.7
医業収益		5,445,065	3,366,046	2,079,019	5,322,500	3,322,272	2,000,228	122,565	43,774	78,791	2.3
入院収益		3,100,443	1,722,445	1,377,998	3,033,249	1,720,010	1,313,239	67,194	2,435	64,759	2.2
外来収益		2,115,684	1,499,467	616,217	2,057,002	1,451,807	605,195	58,682	47,660	11,022	2.9
その他の医業収益		228,938	144,134	84,804	232,249	150,455	81,794	△ 3,311	△ 6,321	3,010	△ 1.4
医業外収益		933,047	472,638	460,409	683,400	341,292	342,108	249,647	131,346	118,301	36.5
受取利息配当金		103	53	50	110	55	55	△ 7	△ 2	△ 5	△ 6.4
他会計補助金		1,907	1,308	599	2,988	2,049	939	△ 1,081	△ 741	△ 340	△ 36.2
補助金		29,481	15,585	13,896	29,592	15,413	14,179	△ 111	172	△ 283	△ 0.4
負担金交付金		622,758	304,060	318,698	629,570	310,024	319,546	△ 6,812	△ 5,964	△ 848	△ 1.1
負担金補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
患者外給食収益		1,153	1,151	2	628	628	0	525	523	2	83.6
長期前受金戻入		209,456	114,017	95,439	—	—	—	209,456	114,017	95,439	皆増
その他医業外収益		68,189	36,464	31,725	20,512	13,123	7,389	47,677	23,341	24,336	232.4
訪問看護事業収益		103,302	66,101	37,201	103,882	62,545	41,337	△ 580	3,556	△ 4,136	△ 0.6
訪問看護療養費収益		97,708	62,952	34,756	98,197	59,459	38,738	△ 489	3,493	△ 3,982	△ 0.5
利用料収益		5,553	3,149	2,404	5,493	3,085	2,408	60	64	△ 4	1.1
その他事業収益		41	0	41	192	1	191	△ 151	△ 1	△ 150	△ 78.6
通所リハビリテーション事業収益		45,322	0	45,322	43,206	0	43,206	2,116	0	2,116	4.9
通所リハビリテーション療養費収益		38,068	0	38,068	36,245	0	36,245	1,823	0	1,823	5.0
利用料収益		7,254	0	7,254	6,961	0	6,961	293	0	293	4.2
その他事業収益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
特別利益		60,457	21,602	38,855	23,159	23,124	35	37,298	△ 1,522	38,820	161.1
過年度損益修正益		0	0	0	1,014	979	35	△ 1,014	△ 979	△ 35	△ 100.0
長期前受金戻入		53,295	18,347	34,948	—	—	—	53,295	18,347	34,948	皆増
その他特別利益		7,162	3,255	3,907	22,145	22,145	0	△ 14,983	△ 18,890	3,907	△ 67.7

(単位：千円)

区 分	年 度	平成26年度			平成25年度			対前年比(H26-H25)			対前年度比 計 (%) H26/H25 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用	(B)	6,697,146	3,922,240	2,774,906	6,268,354	3,699,181	2,569,173	428,792	223,059	205,733	6.8
医業費用		6,109,398	3,612,412	2,496,986	5,911,273	3,515,839	2,395,434	198,125	96,573	101,552	3.4
給与費		3,480,382	1,941,659	1,538,723	3,357,167	1,887,612	1,469,555	123,215	54,047	69,168	3.7
材料費		1,352,667	1,042,086	310,581	1,370,718	1,037,667	333,051	△ 18,051	4,419	△ 22,470	△ 1.3
経 費		826,476	391,527	434,949	838,664	411,028	427,636	△ 12,188	△ 19,501	7,313	△ 1.5
減価償却費		420,845	223,708	197,137	308,693	163,749	144,944	112,152	59,959	52,193	36.3
資産減耗費		5,871	4,277	1,594	10,720	5,869	4,851	△ 4,849	△ 1,592	△ 3,257	△ 45.2
研究研修費		23,157	9,155	14,002	25,311	9,914	15,397	△ 2,154	△ 759	△ 1,395	△ 8.5
医業外費用		257,672	140,226	117,446	206,270	104,083	102,187	51,402	36,143	15,259	24.9
支払利息及び企業債取扱諸費		75,088	21,577	53,511	81,217	23,800	57,417	△ 6,129	△ 2,223	△ 3,906	△ 7.5
長期前払消費税償却		13,377	8,675	4,702	—	—	—	13,377	8,675	4,702	皆増
繰延勘定償却		0	0	0	14,268	6,782	7,486	△ 14,268	△ 6,782	△ 7,486	△ 100.0
雑損失		169,207	109,974	59,233	110,785	73,501	37,284	58,422	36,473	21,949	52.7
訪問看護事業費用		88,995	51,794	37,201	93,338	53,987	39,351	△ 4,343	△ 2,193	△ 2,150	△ 4.7
給与費		84,513	49,894	34,619	88,591	52,290	36,301	△ 4,078	△ 2,396	△ 1,682	△ 4.6
材料費		216	0	216	5	5	0	211	△ 5	216	4,220.0
経 費		4,068	1,795	2,273	4,362	1,550	2,812	△ 294	245	△ 539	△ 6.7
研究研修費		198	105	93	380	142	238	△ 182	△ 37	△ 145	△ 47.9
通所リハビリテーション事業費用		31,610	0	31,610	32,201	0	32,201	△ 591	0	△ 591	△ 1.8
給与費		28,854	0	28,854	28,902	0	28,902	△ 48	0	△ 48	△ 0.2
材料費		1,153	0	1,153	902	0	902	251	0	251	27.8
経 費		1,552	0	1,552	2,341	0	2,341	△ 789	0	△ 789	△ 33.7
研究研修費		51	0	51	56	0	56	△ 5	0	△ 5	△ 8.9
特別損失		209,471	117,808	91,663	25,272	25,272	0	184,199	92,536	91,663	728.9
過年度損益修正損		5,493	5,369	124	0	0	0	5,493	5,369	124	皆増
その他特別損失		203,978	112,439	91,539	25,272	25,272	0	178,706	87,167	91,539	707.1
当年度純損益	(A)-(B)	△ 109,953	4,147	△ 114,100	△ 92,207	50,052	△ 142,259	△ 17,746	△ 45,905	28,159	19.2
その他未処分利益剰余金変動額		1,569,712	722,155	847,557	—	—	—	1,569,712	722,155	847,557	皆増
当年度未処理欠損金		2,389,410	769,735	1,619,675	3,849,169	1,496,037	2,353,132	△ 1,459,759	△ 726,302	△ 733,457	△ 37.9
総収益対総費用比率 (A)/(B)		98.4	100.1	95.9	98.5	101.4	94.5	△ 0.1	△ 1.3	1.4	

(注) 制度改正に伴い、当年度末未処理欠損金は、(当年度純損失+前年度繰越欠損金-その他未処分利益剰余金変動額)により計算(初年度のみ)

別表 24 病院事業資産

(単位：千円)

区分	年度	平成26年度末 償却未済高			平成25年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産		4,826,498	2,571,404	2,255,094	5,451,424	2,891,247	2,560,177
有形固定資産		4,728,701	2,534,140	2,194,561	5,434,094	2,883,224	2,550,870
土地		511,888	101,998	409,890	511,889	101,998	409,891
建物		2,902,992	1,621,078	1,281,914	3,206,658	1,755,744	1,450,914
構築物		69,014	18,427	50,587	84,462	23,623	60,839
器械及び備品		1,218,182	777,631	440,551	1,605,931	990,521	615,410
車両		16,229	8,578	7,651	25,154	11,338	13,816
リース資産		1,528	1,528	0	-	-	-
建設仮勘定		8,868	4,900	3,968	-	-	-
無形固定資産		5,422	3,323	2,099	2,330	523	1,807
電話加入権		523	523	0	523	523	0
ソフトウェア		2,800	2,800	0	-	-	-
その他無形固定資産		2,099	0	2,099	-	-	-
下水道分担金		0	0	0	1,807	0	1,807
投資		92,375	33,941	58,434	15,000	7,500	7,500
長期貸付金		7,200	3,600	3,600	15,000	7,500	7,500
長期前払消費税		85,175	30,341	54,834	-	-	-
流動資産		1,261,203	783,323	477,880	1,376,785	833,089	543,696
現金預金		311,697	170,875	140,822	322,621	133,262	189,359
未収金		916,175	589,374	326,801	1,022,494	682,005	340,489
貯蔵品		33,331	23,074	10,257	31,670	17,822	13,848
前払金		0	0	0	0	0	0
繰延勘定		-	-	-	77,321	27,028	50,293
控除対象外消費税額		-	-	-	77,321	27,028	50,293
合計		6,087,701	3,354,727	2,732,974	6,905,530	3,751,364	3,154,166

別表 25 病院事業負債

(単位：千円)

区分	年度	平成26年度末 現在高			平成25年度末 現在高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債		3,235,754	1,256,620	1,979,134	379,593	213,536	166,057
企業債		3,235,754	1,256,620	1,979,134	379,593	213,536	166,057
流動負債		1,464,961	803,189	661,772	733,721	430,564	303,157
一時借入金		290,000	90,000	200,000	300,000	200,000	100,000
企業債		566,378	313,807	252,571	-	-	-
リース債務		537	537	0	-	-	-
未払金		426,249	294,687	131,562	418,308	221,887	196,421
引当金		172,556	95,951	76,605	-	-	-
その他流動負債		9,241	8,207	1,034	15,413	8,677	6,736
繰延収益		995,007	549,588	445,419	-	-	-
長期前受金		3,327,396	1,655,132	1,672,264	-	-	-
長期前受金収益化累計額		-2,332,389	-1,105,544	-1,226,845	-	-	-
負債合計 (ア)		5,695,722	2,609,397	3,086,325	1,113,314	644,100	469,214

別表 26

病院事業資本金

(単位：千円)

区 分	年 度	平成26年度決算額			平成25年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
自己資本金		496,753	427,953	68,800	496,753	427,953	68,800
固有資本金		28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
繰入資本金		—	—	—	71,267	15,000	56,267
出資金		71,267	15,000	56,267	—	—	—
組入資本金		397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
借入資本金		—	—	—	3,692,114	1,511,119	2,180,995
企業債		—	—	—	3,692,114	1,511,119	2,180,995
資本金合計 (イ)		496,753	427,953	68,800	4,188,867	1,939,072	2,249,795

別表 27

病院事業剰余金

(単位：千円)

区 分	年 度	平成26年度決算額			平成25年度決算額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本剰余金		2,284,635	1,087,111	1,197,524	5,452,518	2,664,229	2,788,289
受贈財産評価額		51,061	8,440	42,621	117,696	8,440	109,256
寄附金		8,075	6,075	2,000	25,935	23,910	2,025
他会計負担金		1,816,541	681,646	1,134,895	3,625,010	1,519,981	2,105,029
補助金		393,358	383,150	10,208	1,683,877	1,111,898	571,979
その他資本剰余金		15,600	7,800	7,800	—	—	—
利益剰余金 (a+b+c-d)		△ 2,389,409	△ 769,734	△ 1,619,675	△ 3,849,169	△ 1,496,037	△ 2,353,132
減債積立金 a		0	0	0	0	0	0
利益積立金 b		0	0	0	0	0	0
建設改良積立金 c		0	0	0	0	0	0
当年度未処理欠損金 d		2,389,409	769,734	1,619,675	3,849,169	1,496,037	2,353,132
(うち当年度純利益)		(△ 109,953)	(4,147)	(△ 114,100)	(△ 92,207)	(50,052)	(△ 142,259)
剰余金合計 (ウ)		△ 104,774	317,377	△ 422,151	1,603,349	1,168,192	435,157

資本合計 (イ)+(ウ)	391,979	745,330	△ 353,351	5,792,216	3,107,264	2,684,952
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	6,087,701	3,354,727	2,732,974	6,905,530	3,751,364	3,154,166